

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をとおして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。



新年度を迎えましたが、まずは能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
被災地が一日も早く復旧し皆様が安心して日々の生活を送れるよう、切に願っております。

2024年度を迎えて

社会および個人活動のさまざまな制限が緩和される中、今年度も桜の開花とともに新しい年度がスタートしました。2024年度は医療界においてトリプル改定、第8次医療計画、及び医師の働き方改革などまさに変革が目白押しです。そして医療DXの推進及び2040年を見据えた全世代型社会保障制度の構築など、コロナ禍で停滞していたものがさらに加速していく年と思います。昨今それぞれの地域医療現場での課題がより個別化していくなかで、個々の医療機関の課題解決力と合わせて未来をつくる仕事はこれからより求められていくのでしょうか。私たちあわら病院は、社会がどのように変わっていくとも「多くの人の笑顔のために」という理念を揺らぐことなく掲げ続け、患者さんや社会から求められていることは何かを常に考えながら、より安全で良質な医療と介護を提供できるようこれからも努力してまいります所存です。今年一年、さらなるご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



院長
見附 保彦